

株式会社 WOWOW プラス 番組審議会議事録 (2021 年 4 月 15 日開催分)

開催年月日： 2021 年 4 月 15 日(木) 11:00~13:00

開催場所： オンライン開催

委員の出席： 番組審議員 7名

WOWOW プラス 6名

出席者

[審議員] 青木真弥、池ノ辺直子、音好宏、高寺成紀、富澤一誠、  
村上典吏子、湯浅正敏 (以上 50 音順、敬称略)

[放送事業者] 郡司誠致、宮澤辰之、松田健吾、青木昭、高木慶、  
伊藤里沙(記)

- 議題： (1) 2021 年 1 月~3 月の歌謡ポップスチャンネルに対する視聴者からの  
問い合わせや指摘・意見について  
(2) 歌謡ポップスチャンネルの番組内容、編成内容に関する審議

報告事項： 2021 年 1 月~3 月における歌謡ポップスチャンネルに対する視聴者からの  
問い合わせや指摘・意見について、当社編成制作局長より、その件数や  
代表的な内容といった概要説明を行った。

審議事項： [審議番組] 『紡ぐ詩。繋ぐ歌。~林部智史 新たな挑戦~』

<番組概要>

2020 年にデビュー5 周年を迎えた歌手・林部智史の創作ドキュメンタリーを独占放送!

シングル「あいたい」でデビューし、“今、もっとも泣ける歌”として注目を集めた林部智史が、シンガーソングライター・小椋佳の全曲書き下ろしによるアルバム制作に挑戦。

「シクラメンのかほり」「俺たちの旅」「愛燦燦」「愛しき日々」「夢芝居」等、詩を大切に数えきれない名作を世に送り出してきた小椋佳。音楽界のレジェンドが歌に託した想いを、林部智史が受け止め歌い継ぐアルバム制作に密着する。

小椋佳のアルバム「もういいかい」と同日にリリースの林部智史ニューアルバム「まあだだよ」のレコーディングやジャケット撮影の様、本人インタビューなども織り交ぜて小椋佳の歌世界へ挑む歌手・林部智史の姿を追う。

審議内容： ■審議員意見

- ・林部智史氏を知らなくても、小椋佳氏や彼の曲を知っていれば関心につながり、ドキュメンタリー番組として良く出来ていた。これまでチャンネルが継続してきたからこそ作られた、今までにない独占企画で面白いと思う。
- ・林部氏を知らない視聴者にも分かりやすく、コロナ禍で密着が難しい中でのレコーディング風景などファンにも嬉しいドキュメンタリーだったと思う。もう少し観たい、曲が聴きたいと思わせて続編があるという連続性も良い。
- ・番組としてはシンプルな構成で観やすく、綺麗にまとまっている。一方で歌唱より一人語りの部分が多く、やや淡々として説明的な印象でもあるので、中盤にもう少し起伏や凹凸が欲しい。
- ・視聴者がドキュメンタリーに期待する人間的な部分（苦労や葛藤など）をもう少し映し出すと、林部氏の「オンリーワン」としての人物像がさらに伝わったのではないか。歌唱シーンでは歌詞をテロップで出した方が、「言葉を大事にする」という彼の作家性や個性がより分かりやすかったと思う。
- ・本編が約50分でさらに続編もあるという意欲のある番組なので、小椋氏ほどの人物がなぜ他の誰でもなく林部氏に、1曲のみならず8曲も書き下ろして自身の想いを託したのか、もっと深掘しても良かったのではないか。
- ・歌手とその音楽の背景にフォーカスした、歌謡ポップスチャンネルならではの企画で素晴らしい。既にメジャーなスターだけでなく、これから伸び代がある中堅や新人の歌手を取り上げることに価値があると思う。

■総評

- ・コロナ禍という大変な時期の中でも丁寧に手間暇をかけて作られた番組であり、それが評価にもつながっている。知恵を絞り、汗をかいた甲斐があると思うので、今後も今までにない新しい企画にチャレンジすることを大事にして欲しい。

-----  
連 絡 事 項 : 次回番組審議会は、2021年7月15日(木)11:00開催予定。

以上